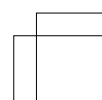
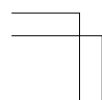
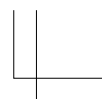
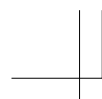


「ファッションとジェンダー」展 図録



この図録は、ファッションとジェンダー展終了後、その記録としてまとめられたものです。

ファッションとジェンダー展

開催期間

2021年2月17日(水)～2月22日(月)

開催場所

九州大学大橋キャンパスデザインコモン2階

主催

九州大学社会包摂イニシアティブ
九州大学芸術工学部未来構想デザインコース

index

Introduction	02
解体	06
理想と現実	12
現代のコルセット	18
フェミニン・スペクトラム	24
コラージュ	30

Introduction

メンズとレディース。スカートとズボン。セーラー服と学ラン。
私たちの普段きる服には、ジェンダーが密接に関わっている。
ファッションにまわりつく男女二元論。
日々押し付けられる画一的な「美しさ」の基準。
なぜこの服を着ているのだろう。
服を着るってなんだろう。
今一度、見つめ直そう。そして、その先を探す旅に出よう。



解体

襟、ボタン、袖、ポケット。
ばらばらにして、観察してみる。
何がレディースをレディースらしくしているのだろう。
何がメンズをメンズらしくしているのだろう。
どこが違う？
あるいは、実はそんなに変わらない？

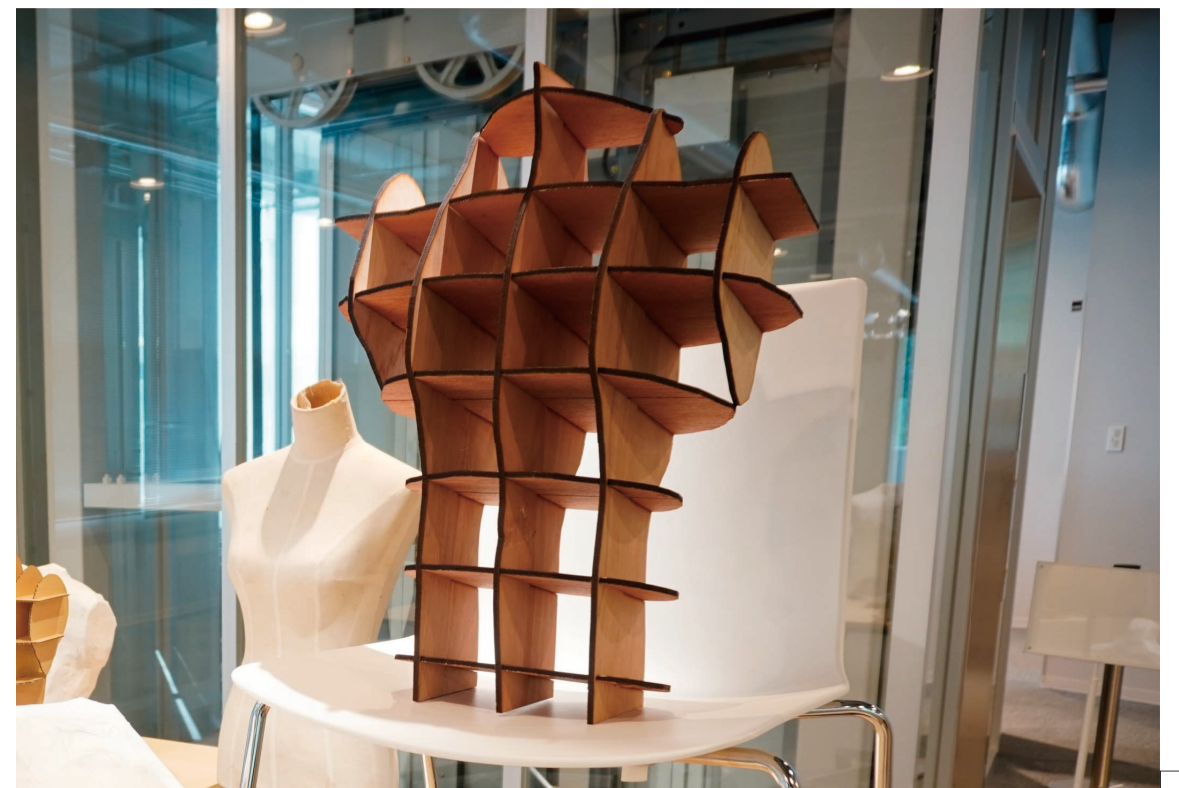




理想と現実

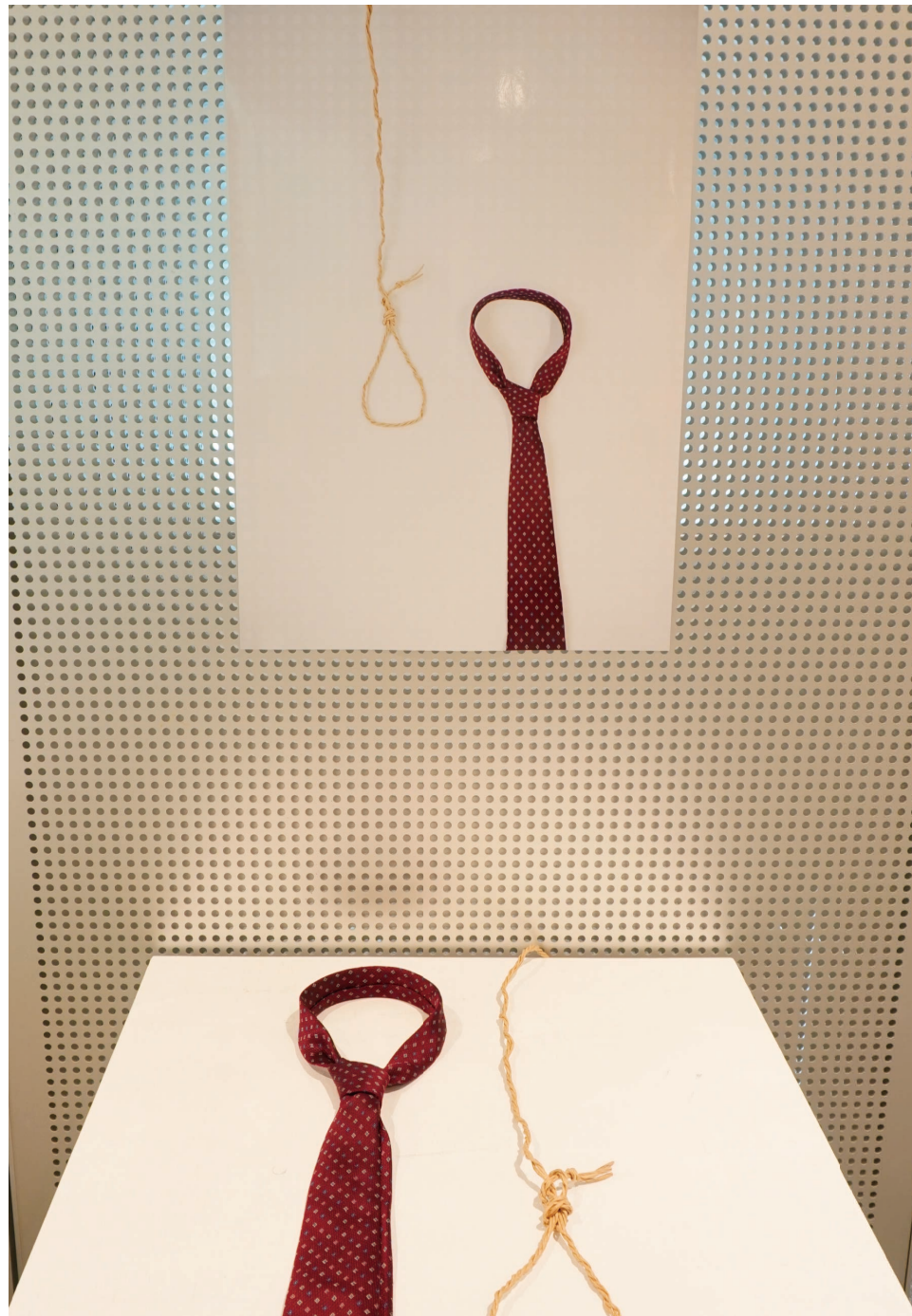
トルソー、と聞けば思い浮かぶ「あの形」。
でもそれって、私の形じゃない。
誰の形なんだろう。
あの形は、理想の形。
現実の私たちの形は、もつと多様だ。
S.M.I.Lのいずれかに押し込められるとしても。





現代の コルセット

コルセットの時代はもう終わったけれど。
私たちは別の形で身体を矯正して／させられている。
女はヒールを吐かなくちゃいけない、とか。
毛を生やしっぱなしだとだらしがない、とか。
私たちは私たちを、拷問し、束縛し、拘束し、刈り取り続ける。





フェミニン・スペクトラム

フリル＝女性らしい、と設定してみよう。
フリルの量に比例して女性らしさは増すはずだ。
そこで実験。
シンプルなシャツに少しずつフリルを足していくと、
だんだん女性らしく・・・なるのだろうか？
フリルと女性らしさの関係、さあ検証してみよう。





コラージュ

レディースもメンズも、
スカートもズボンも、
レザーもレースも、
なんでもかんでもごちゃまぜにしちゃえ！
ジェンダーを、ファッションを、攪乱するのだ。





制作
大石 碧
鶴 菜々子



ファッションとジェンダー展 図録
発行日 2022 年 5 月 1 日

